大阪府医療審議会病院新増設部会意見書

資料１－６

平成３０年２月７日に審議した下記議案については、全委員一致で下記のとおり承認されたので報告する。

記

１　承認された議案名

第１号議案　「住吉市民病院廃止に伴う病院（医療機能）再編計画（案）について」

２　部会意見

　　○本再編計画（案）については、賛成の方向で大阪府医療審議会へ報告する。

　　○再編計画（案）の実施にあたっては、平成３０年１月２４日開催の大阪市南部保

健医療協議会における附帯決議及び決議を尊重すること。

○診療所については、市立大学附属病院の新病院完成までの間、大阪市として市民

病院機構と協議しながら、地域の医療ニーズの変化に柔軟に対応し、必要な医療

が提供されるよう努められたい。

３　出席委員からの主な意見

　　○今後、小児・周産期医療の集約化を進めることは必要であり、大阪急性期・総合

医療センターへ９７床を移管し、高度な小児・周産期医療に対応するという本再

編計画は評価できる。

　　　○診療所における診療コマ数の増加や福祉的な相談窓口の設置など、診療内容を充

実するよう大阪市は努力すべき。また、診療所と大阪急性期・総合医療センター

とのアクセス改善についても検討すべきである。

　　　○本再編計画（案）の内容については、住民に対して丁寧な説明を行う必要がある。

○新病院誘致については、実現性に懸念もあるが、地域に必要な小児・周産期医療

を提供できるよう大阪市が責任を持って計画をとりまとめ、早期に住民に説明を

する必要がある。また、完成までの期間を可能な限り短縮化できるよう検討すべ

である。

○民間病院誘致の失敗は大阪市の責任であり、このような事態を招いたことを反省

すべきである。また、大阪市健康局長から謝罪の言葉があったが、誘致失敗の原

因については、分析して説明すべきである。

平成３０年２月１５日

大阪府医療審議会病院新増設部会

部会長　中　尾　正　俊